

2026年10月29日
セーフィー株式会社

セーフィー、シンガポール発の映像AI解析企業「Ailytics」に出資 「現場AX」による安全管理の高度化により「事故なき世界」の実現を目指す

クラウド録画サービスシェアNo.1（※1）のセーフィー株式会社（東京都品川区：代表取締役社長CEO 佐渡島 隆平、以下「セーフィー」）は、建設・製造現場の安全管理を向上させることを目的に、当社のCVCであるセーフィーベンチャーズ株式会社を通して映像AI解析を開発・提供するシンガポール発スタートアップAilytics Pte Ltd.（シンガポール本社：代表取締役社長CEO Tan Wei Zhuang、以下「Ailytics」）への出資を行いました。



セーフィー、シンガポール発の 映像AI解析企業「Ailytics」に出資

■出資の目的

セーフィーは、「映像から未来をつくる」をビジョンに掲げ、クラウド録画型映像プラットフォーム「Safie（セーフィー）」を開発・提供しています。現場に設置したカメラの映像をクラウド上に蓄積し、いつでも、どこでも必要な情報を確認できる環境を提供することで、あらゆる現場における業務効率化や意思決定を支援してきました。近年は、映像データを「見る」という用途だけでなく、AIによって映像から必要な情報を抽出し、現場の判断や行動につなげて「活用する」という「現場AX（AI Transformation）」を推進しています。

こうした映像とAIの活用は、現場の安全管理においてますます重要になっています。日本では、労働災害による死傷者数が高止まりで推移しており、安全管理のさらなる高度化が求められています。一方、深刻な人手不足に直面する建設・製造現場では、人の目だけで現場の状況を常時把握することには限界があります。そのため、映像とAIを活用して現場のリスクを継続的に把握し、事故の予防につなげる安全管理へのニーズが高まっています。

一方、シンガポールを拠点とするAilyticsは、映像AIを活用し、建設・製造現場の安全性と生産性の向上を支援しています。豊富な現場データをもとにした映像AI解析により、現場における不安全行動の把握や対応、協力会社の評価、進捗状況の確認など、これまで人が目視で行っていた現場管理業務の効率化を実現しています。また、シンガポール政府による支援や現地のパートナー企業との連携を背景に、同国を中心に導入が拡大しています。

本提携を通じて、両社が培ってきた建設・製造現場の知見と技術を活かし、「Safie」のクラウド録画プラットフォーム・デバイスとAilyticsの映像AI解析技術を組み合わせた、「不安全行動検知AI」の導入を加速します。これにより、映像の「記録」にとどまらず、「検知・気づき」から「判断・行動」までを支援し、現場の安全管理の高度化や遠隔管理を推進します。さらに、Ailyticsの東南アジアの顧客基盤も活用し、「映像×AI」による現場AXをアジア、そして世界へ展開してまいります。

（※1）テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2025）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（54.3%）

（※2）厚生労働省：令和7年の労働災害発生状況を発表（2026年5月27日発表）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_73382.html

■セーフィーグループの戦略出資の考え方

セーフィーグループは「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、映像を活用した遠隔での安全管理や見守りを通じて、安心・安全な社会の実現を目指してきました。今後、お客様の安心・安全に関するニーズにより広く応えていくため、事故やリスクを「見える化」するだけでなく、発生を「予知・予防」するとともに、万一事故が発生した際にも適切に備えられる仕組みが重要だと考えています。

その実現には、映像をはじめとするデータにより現場状況を継続的に捉える「現場DX」を基盤に、AIによって不安全行動やリスクの兆候を捉え、必要な判断や対応につなげる「AIエージェント・遠隔支援」、さらに事故の予防や被害の抑制、万一の際の補償を担う「警備・保険」まで、各機能を連携させることが重要です。セーフィーグループは、これらを通じて、現場の事故やリスクを早期に捉え、未然に防ぎ、万一の際にも安心・安全を支えられる一貫したソリューションの構築・提供を目指しています。

今回のAilyticsへの出資も、こうした取り組みを加速させるためのものです。Ailyticsが有する現場の不安全行動やリスクを検知・分析するAI技術は、現場で起きていることの「見える化」を事故発生の「予知・予防」へと発展させるうえで重要な役割を担います。Ailyticsとの協業を通じて、現場で起きていることを捉えるだけでなく、そこから得られる情報を事故の予防や安全な現場づくりに生かすことで、お客様の安心・安全をより先回りして支えていきます。

セーフィーは、今後もお客様に安心・安全な社会を支え続けるため、企業のグループジョインを通じて、それぞれが持つ技術や専門性を掛け合わせ、データドリブンな「事故なき世界」の実現に向けた取り組みを加速してまいります。

セーフィーのM&A戦略及び出資/グループジョインの実績



労働力不足が加速する『8掛け社会』^{*1}の到来に対し、映像・音声・センサーデータをAIと統合的に掛け合わせることで、現場業務の省人化・自動化、および働く人々のエンパワメントの実現を目指す

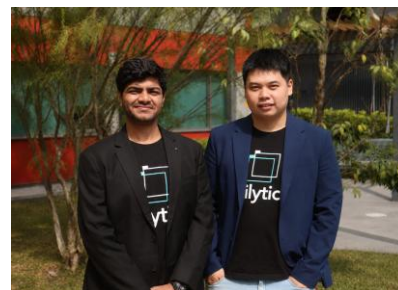
戦略		出資先・子会社 ^{*2}	
データ収集	現場データ (映像・音声・センサー)の 網羅的な取得	MUSVI TIMELEAP MODE BONX Laska	Safie Field Works Inc. SAFIE VIETNAM CO., LTD. SAFIE (THAILAND) CO., LTD.
検知・解析	現場データ×AIによる 重要なデータへの迅速なアクセス	AVIA Hutzper Voxela KiX	New Ailytics
予知予防・ 保険	現場の安心・安全から 経済的補償までオールインワン パッケージで提供	セーフィーセキュリティ株式会社	総合保険サービス 佐渡島商事株式会社 Sadosimashoji inc.

^{*1}: 8掛け社会: 現場をもつ主要業界における労働供給不足のこと

^{*2}: セーフィーフィールドワークス株式会社、SAFIE VIETNAM CO., LTD., SAFIE (THAILAND) CO., LTD., 株式会社Laska, KiX株式会社, セーフィーセキュリティ株式会社は当社連結子会社

■ Ailytics Pte Ltd. 代表取締役社長CEO Mr.Tan Wei Zh uangコメント (日本語訳)

創業当初の課題は、実際の作業現場でAIが危険を確実に検知できるかということでした。しかし今日では、クライアントの全拠点にいかに迅速に展開し、導入初日から価値を提供できるかが問われています。今回の資金調達の目的は2つあります。1つは、米国や日本など、すでにパートナーと案件パイプラインを有する市場への展開を深め、さらに他の市場へと拡大していくこと。もう1つは、当社のプラットフォームを海事や鉱業分野へと拡張することです。



既存のカメラを使ってリスクの高い現場を運営している事業者は何千と存在しますが、その大半は、得られた映像を安全性や生産性の向上に活かす手段を持っていません。セーフィーのような広く普及したクラウドカメラと当社のAIを掛け合わせれば、現場は新たなハードウェアを導入することなく、映像を直ちに価値あるデータへと変換できます。当社には、他社には立ち入りかほとんど許されないような現場で蓄積した5年分のフィールドデータがあり、このギャップをどう埋めるべきかを熟知しています。今後はさらにスピードを上げて事業を拡大し、より多くの現場に価値を届けていく所存です。

■セーフイー株式会社 代表取締役社長CEO 佐渡島コメント

映像データを収集・解析し、危険を検知・予防することで、安心安全な社会に貢献していく。私たちがそんな構想を深めていた折、Ailytics社の建設現場における高度なAIソリューションに出会いました。

建設現場において安全管理のニーズは非常に大きく、私たちのプラットフォームに彼らの技術が加わることは、まさに理想のサービスを実現するための「ミッシングピース」が埋まったと確信しています。セーフイーとAilyticsが協業することで、あらゆる建設現場に遠隔見守りや警備といったワンストップのソリューションを提供できるようになります。

お客様の安心・安全を支え続けるため、今後は、遠隔での安全管理や見守り、警備・保険の本格的なサービス展開に加え、事故予防を見据えた独自の保険開発までを一貫して提供していく準備を進めています。Ailyticsという欠かせないパートナーと共に、建設現場の安心・安全を根底から支え、社会課題の解決に取り組む私たちの未来にぜひご期待ください。

本件が2026年12月期通期業績に与える影響は軽微であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

【本件に関するお問合せ先】

セーフイー株式会社 IR担当 Email:ir@safie.jp

